

防災教育 缶詰パンを商品化

半田商高生 地元店と協力

半田商業高校(半田市白山町)は、防災教育の一環としてオリジナルの保存用缶詰パン「ごんぼんだ」を、地元のパン店の協力を得て商品化した。六、七日の「はんだ山車まつり」を最初に販売を始める。収益は東日本大震災の被災地に寄付する。(山野舞子)

昨年度の総合ビジネス科 ツネのイラストを添えた。

三年生が「防災に関する授業」で保存用缶詰パンの商品化を提案した。本年度の三年生二十人がこの案を引き継ぎ、週二回の授業で商品化への会議を重ねた。

生徒たちがパンの味や形、食感などを提案し、学校近くのパン店「AOIベーカー」がドライフルーツ味とさつまいも味の二種類を作った。

商品名は「ばん」と「はんだ」と「ごんぎつね」を合わせた「ごんぼんだ」にした。缶のパッケージにはパンの写真を全面に載せ、パンタの着ぐるみを着たキ

一缶にパン二個入りで五百円。保存用に賞味期限は一年。はんだ山車まつりのほか、十一月十一日に愛・

地球博記念公園(長久手市)で開かれる防災フェスタでも販売する。今後、ホームページを使った販売も検討している。(半田商業高)

電0569(21)0251



保存用缶詰パン「ごんぼんだ」を商品化した半田商高の生徒ら＝同校で